

第567回微動の会に参加しました

日時：令和3年10月22日13：00－23日12：00

会場：Zoom によるオンライン 時間差観測会は静岡県掛川市

微動の会は、微動に興味のある全国の研究者、技術者、学生の集まりです。例年、2泊3日程度で宿泊施設に缶詰状態でひたすら研究発表と発表よりも長い時間の議論がおこなわれ、かつ観測会も実施されることが多かったのですが、昨年はコロナ禍で実施できませんでした。しかし、今年度は幹事の皆様のご尽力にて Web 形式で開催されました。

微動の会は、土木建築などの工学分野、地球物理や地質などの理学分野だけでなく、機器開発やソフトウェアに興味のある方々もいらっしゃるので、普段は全く付き合いのない所属機関の方とお話する良い機会です。年代も、上は60代から下は学生まで多岐に渡っています。

私だけでなく、大学院生や4年生も参加して講演や信じられないくらい長い時間の質疑や議論を拝聴しました。通常、研究発表は10分程度発表して5分程度質疑応答をするのが標準だと思います。この会では質問が尽きるまで討議が続くことが多く、当初、プログラムを見るかぎりスカスカのスケジュールと思われていましたが、ちょうど時間通りの終了となり、想定内の時間割だったことがわかります。

大学院生の土屋くんも地震波干渉法に基づく福島県の2次元スローネス推定の研究内容を発表して、普段学内の先生からは得られない質問や指摘を頂戴し、勉強になったようです。来年以降は自由自在に移動して、ここ2年間会えなかった方々と対面で議論したいです。